

2017年 臨床検査全国意識調査 集計結果報告

健康診断を「受けてよかった」半数以上

しかし「検査結果を理解できた」は3割未満

受診者が検査結果を活用できる事後サービスに期待

一般社団法人日本臨床検査薬協会（所在地：東京中央区、会長：寺本哲也）は、臨床検査に対する国民の認知状況を知るため、2017年2月17日～2月20日の期間で、全国の20代～60代の男女1,000人を対象に「臨床検査に関する全国意識調査」（調査方法：インターネット調査）を実施いたしました。

集計の結果、臨床検査について「知っている」21.1%、「名前を聞いたことがあるが、内容までは知らない」47.6%を合わせて、認知している人の割合は68.7%となりました。しかしご自身が受けた検査結果について「理解できた」の回答は28.0%と低く、特に若い年代で検査結果を理解できていない人が多いことが明らかになりました。臨床検査に期待するサービスでは、検査結果のデータ提供や、結果の見方の指導、生活改善アドバイスなど、検査結果を健康管理に活かせる事後サポートに対する期待が高いことがわかりました。

日本臨床検査薬協会では、これらの調査結果を参考に、国民の皆様へ「臨床検査の意義や価値」などの情報を提供していく活動を行い、医療福祉に貢献してまいります。

【調査概要】

調査対象者：全国の20歳～69歳の男女

有効回答数：1,000サンプル（各性年代100人）

調査期間：2017年2月17日（金）～2017年2月20日（月）

調査方法：インターネット調査

【調査結果抜粋】

■臨床検査の認知は「知っている」21.1%、「名前を聞いたことがあるが、内容までは知らない」47.6%。

■健康診断を「受けてよかった」と52.5%が回答。

「意外と血圧が高いと気づけた」（29歳男性）、「ポリープを小さいうちに切除できた」（47歳女性）

■健康診断を受けずに後悔した経験。

「乳がんの発見が遅れ抗がん剤治療に」（49歳女性）、「受けなかった年は不安だった」（58歳男性）

■全体の半数以上、60代では7割以上が臨床検査後、生活改善に取り組み。

「定期的な運動」「塩分を控える」「糖質を控える」「脂質を控える」が上位に。

■臨床検査について知りたい情報は「費用」「検査の方法」「検査結果の評価方法」。

■検査結果について「理解できた」28.0%。しかし臨床検査に関して自ら情報取得する人は4割未満。

■受診者が健康管理に活用できる事後サービスに期待が寄せられた。

本リリースに関するお問い合わせ先

一般社団法人 日本臨床検査薬協会

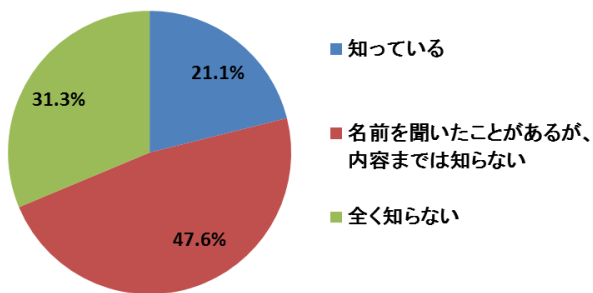
TEL：03-5809-1123 FAX：03-5820-6120 担当：小室（おむろ）

URL：<http://www.jacr.or.jp>

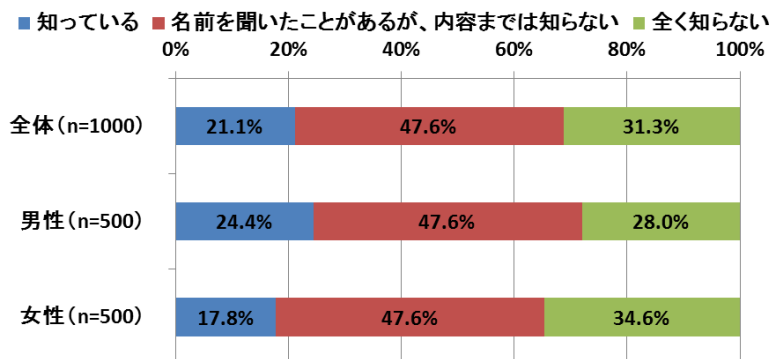
Q1. あなたは臨床検査に関して、下記の説明のことをご存知ですか。(n=1,000、単数回答)

臨床検査には、身体から採取した血液・尿・便・細胞・髄液などを検査する「検体検査」とレントゲン・心電図・超音波・脳波などで身体を検査する「生理機能検査」があります。検体検査の中で、病気の診断を目的とした臨床検査に用いる薬品を「体外診断用医薬品」といい、製品ごとに厚生労働省等に申請し、品質、有効性及び安全性等の確認を受けています。

【全体】

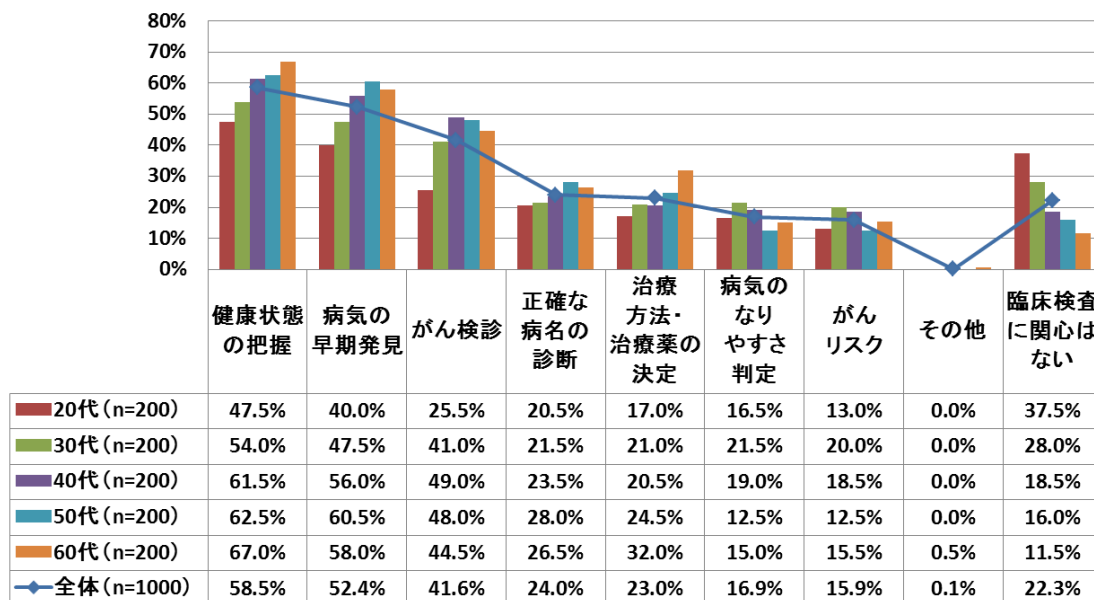


【性別】



臨床検査の認知度は、全体では「知っている」21.1%となり、昨年度の調査結果（19.7%）とほぼ同じ結果となりました。性別で見ると「知っている」の割合が男性24.4%、女性17.8%と、女性よりも男性の方が認知していることがわかりました。

Q2. あなたが関心のある臨床検査は、どのような検査ですか。(n=1,000、複数回答)



関心のある検査を聞いたところ、回答の多い順に「健康状態の把握」58.5%、「病気の早期発見」52.4%、「がん検診」41.6%となりました。20代では4割近くが「臨床検査に関心はない」と回答し、若い年代では臨床検査への関心度が低い結果となりました。

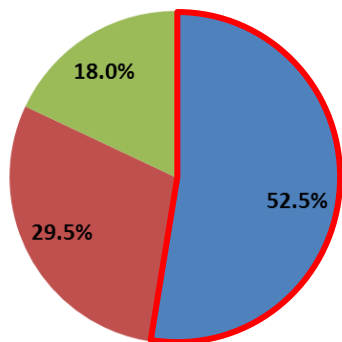
本リリースに関するお問い合わせ先
 一般社団法人 日本臨床検査薬協会
 TEL : 03-5809-1123 FAX : 03-5820-6120 担当 : 小室 (おむろ)
 URL : <http://www.jacr.or.jp>

Q3. あなたはこれまでに、健康診断を受けてよかったと感じた経験がありますか。

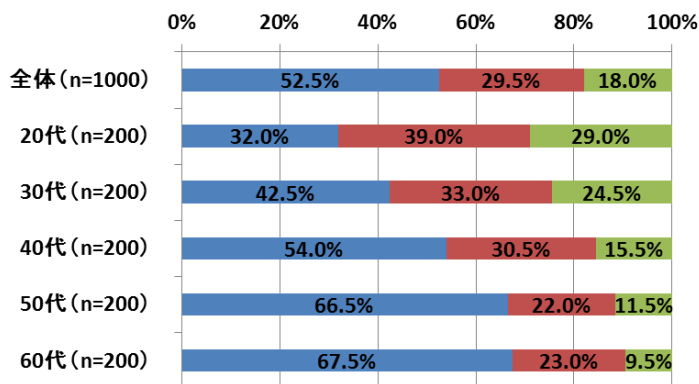
(n=1,000、単数回答)

【全体】

【年代別】



■ ある
■ ない
■ 覚えていない



■ ある
■ ない
■ 覚えていない

生活者にとって身近な臨床検査の機会である健康診断についてお聞きしました。健康診断を受けてよかったと感じた経験が「ある」が52.5%と半数以上にのびました。また年代が上がるほど、健康診断を受けてよかったと感じた経験のある方の割合が多くなりました。

Q4. あなたがこれまでに、健康診断を受けてよかったと感じた経験について具体的にお答えください。

(n=525、Q3で「ある」と回答された方；自由回答)

- ・健康状態が把握できる（たとえばコレステロール値などがわかれば食事を見直すことができる）。
(67歳女性／岐阜県)
- ・年齢的に隠れた病気の不安があったが、健康診断を受けて異常無しだったので安心した。
(45歳男性／宮城県)
- ・糖尿病予備軍だと判断されて食事に気をつかうようになった。(55歳男性／京都府)
- ・脂肪肝がわかり飲酒量を減らした。(53歳女性／東京都)
- ・大腸ポリープが見つかり、小さいうちに取った。(47歳女性／静岡県)
- ・自分でできる範囲の運動メニューを薦められたこと。(39歳男性／千葉県)
- ・貧血がわかりいろいろな対処法を教えてもらった。(28歳女性／東京都)
- ・意外と自分の血圧が高かったのに気づけた。(29歳男性／新潟県)
- ・妊婦検診で母子ともに病気が見つかることがなく済んだので安心して出産に挑めた。
(25歳女性／北海道)
- ・健康について深く考えるようになったこと。(51歳女性／東京都)

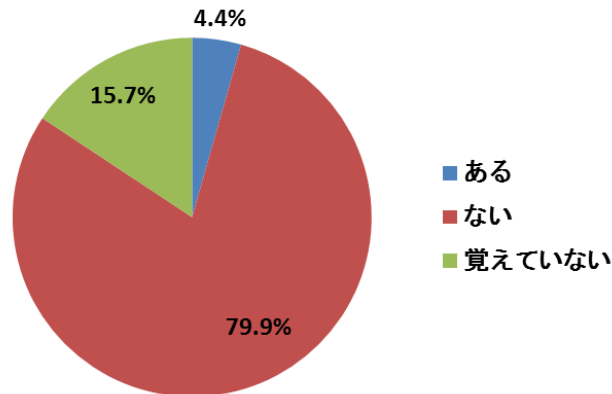
病気の早期発見・早期治療ができた、病気になる危険性がわかり生活習慣を改善できた、など健康診断を受けて早く病気に対処ができた経験が多く挙げられました。また、ご自身の状態に応じたアドバイスがもらえたことが良かったという方も多く、検査結果を健康管理に活かせる提案が受診者の満足につながるということがわかります。異常がないことがわかって安心したという意見も多く、健康診断はご自身の健康に関する不安を解消し、健康を維持しようという動機付けの効果があるようです。

本リリースに関するお問い合わせ先
一般社団法人 日本臨床検査薬協会

TEL : 03-5809-1123 FAX : 03-5820-6120 担当 : 小室 (おむろ)

URL : <http://www.jacr.or.jp>

Q5. あなたはこれまでに、健康診断を受けずに後悔した経験がありますか。(n=1,000、単数回答)



健康診断を受けずに後悔した経験のある方は4.4%となりました。

Q6. あなたがこれまでに、健康診断を受けずに後悔した経験について具体的にお答えください。

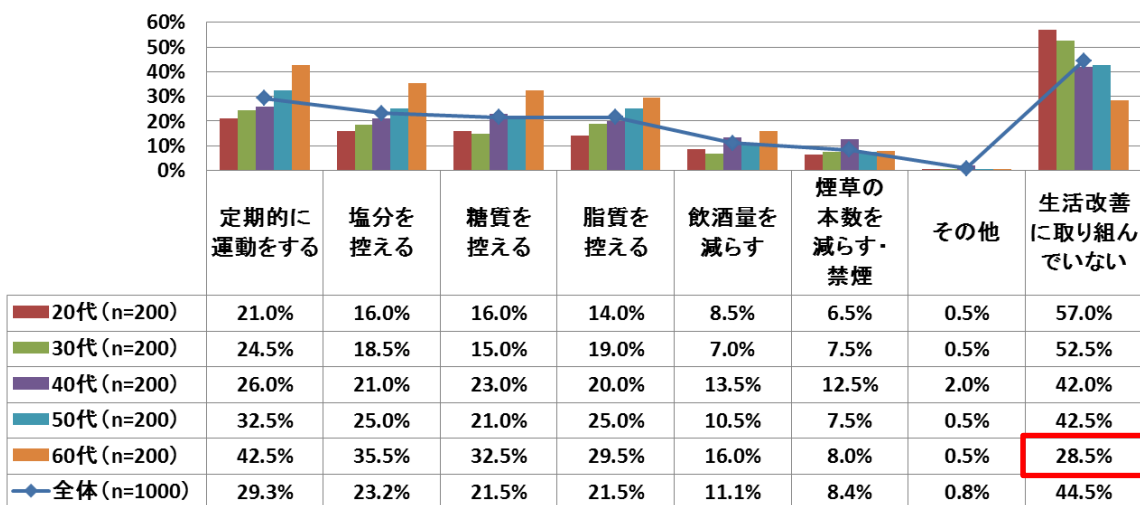
(n=44、Q5で「ある」と回答された方；自由回答)

- ・乳がんがもっと初期で発見できて、抗がん剤治療などはしなくてよかったかもしれない。
(49歳女性／大阪府)
- ・糖尿病になっていたのを十数年も知らなかった。(61歳男性／東京都)
- ・仕事の忙しさから受診をやめていたが、体調不良をずっと抱えていた。結果、コレステロールがかなり高くなっており、苦戦している。(51歳女性／東京都)
- ・受けなかった年は不安だった。(58歳男性／長野県)

健康診断を受けずに後悔した経験は、病気の発見が遅れたため負担のかかる治療が必要になってしまったという意見が多く挙げられました。また、健康診断を受けないと不安、という方が多くいました。不要な心配をしないためにも定期的に検査をしてご自身の健康状態を知ることが重要です。

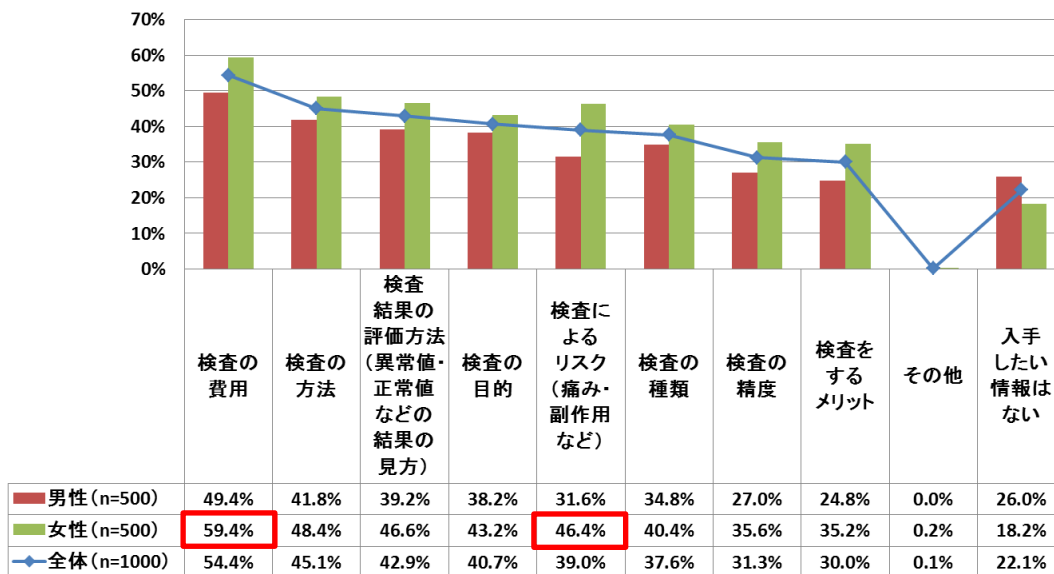
Q7. あなたが現在、臨床検査の結果を受けて、取り組んでいる生活改善の内容をお答えください。

(n=1,000、複数回答)



検査の結果を受けて、取り組んだ生活改善は「定期的に運動をする」29.3%、「塩分を控える」23.2%、「糖質を控える」「脂質を控える」21.5%が上位となりました。「生活改善に取り組んでいない」は、若い年代ほど多い結果となりました。60代では「生活改善に取り組んでいない」が28.5%で7割以上の方が検査結果から生活改善し、病気予防や健康維持に活かしていることがこのグラフから読み取れます。

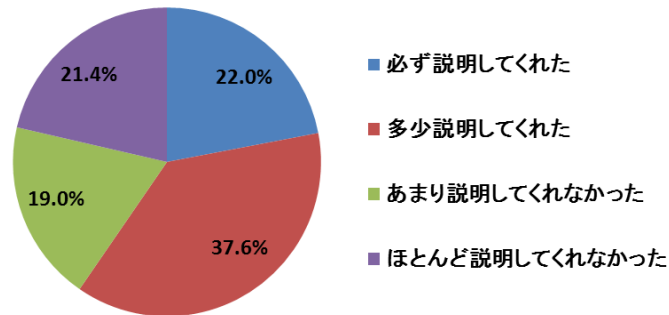
Q8. あなたは、臨床検査についてどのような知識や情報を入手したいですか。(n=1,000、複数回答)



臨床検査について知りたいことの上位3項目は「検査の費用」54.4%、「検査の方法」45.1%、「検査結果の評価方法（異常値・正常値などの結果の見方）」42.9%となりました。検査を受けるにあたってかかる費用やその方法のほか、検査結果が出た後で結果をどのようにとらえたらよいのか、結果の見方を知りたいという方も多くいることがわかりました。性別で回答割合に差があった項目は「検査によるリスク（痛み・副作用など）」や「検査費用」で、男性よりも女性の方が、検査によるリスクや検査費用について知りたいと考えている方が多いことが明らかとなりました。

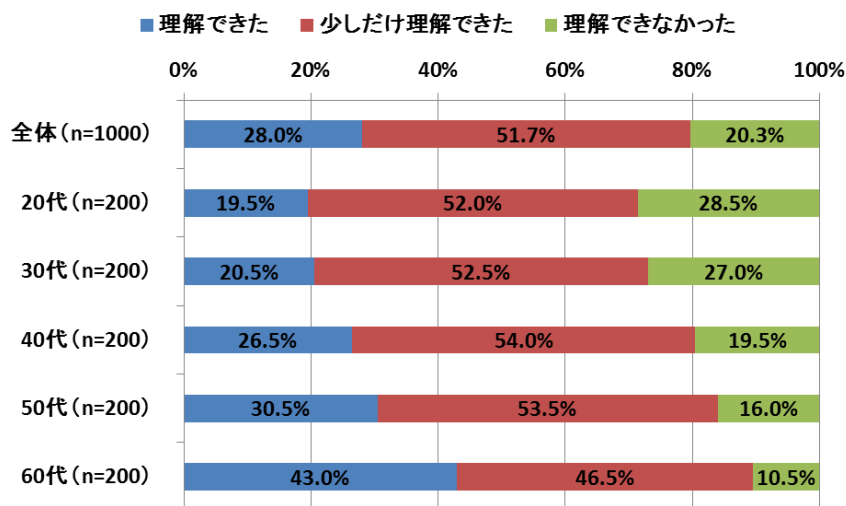
本リリースに関するお問い合わせ先
 一般社団法人 日本臨床検査薬協会
 TEL : 03-5809-1123 FAX : 03-5820-6120 担当 : 小室 (おむろ)
 URL : <http://www.jacr.or.jp>

Q9. あなたがこれまでに臨床検査を受けた際に、医師は検査の内容（目的・内容）および結果について説明してくれましたか。（n=1,000、単数回答）



臨床検査を受けた際、検査の内容や結果について医師から説明があったかを聞いたところ、「必ず説明してくれた」22.0%、「多少説明してくれた」37.6%と、約6割は「説明してくれた」となりました。しかし4割以上が「説明してくれなかった」と回答し、検査に対し疑問や不安が残りうる状況があることがわかりました。

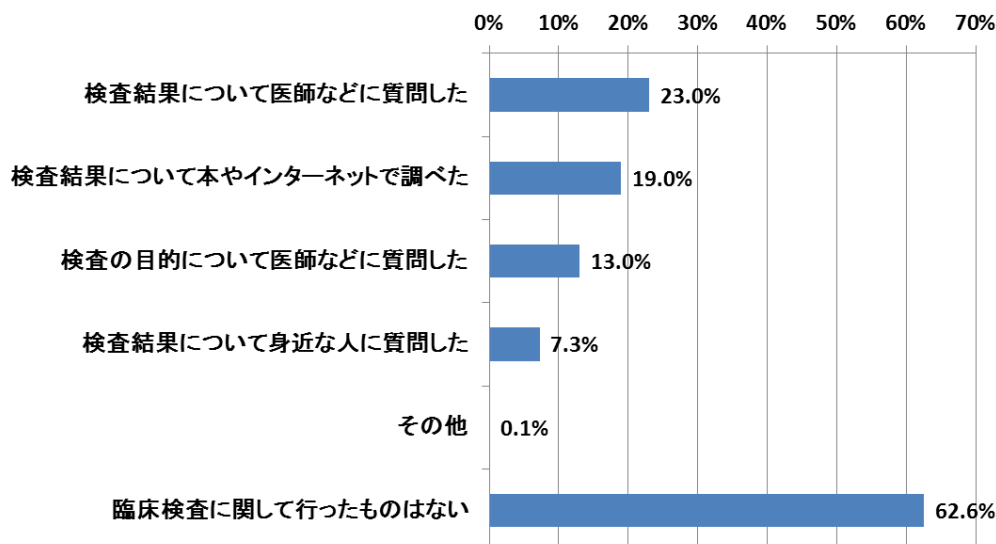
Q10. あなたは検査結果の説明を受けて（またはデータを見て）、理解できましたか。（n=1,000、単数回答）



検査結果を理解できたか聞いたところ、「理解できた」が全体で28.0%と、十分理解できている方は3割に満たないことが明らかになりました。若い世代ほど「理解できなかった」の割合が多くなっています。

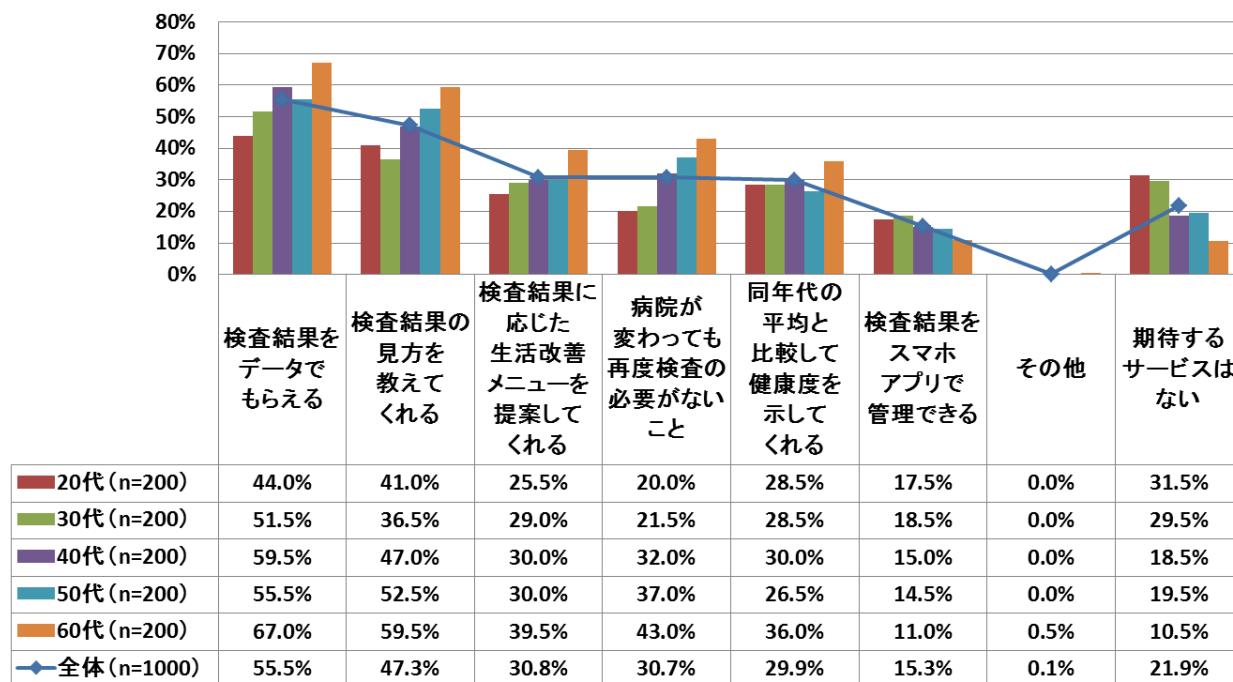
本リリースに関するお問い合わせ先
 一般社団法人 日本臨床検査薬協会
 TEL : 03-5809-1123 FAX : 03-5820-6120 担当 : 小室 (おむろ)
 URL : <http://www.jacr.or.jp>

Q11. あなたが、臨床検査に関して行ったことのあるものをお答えください。(n=1,000、複数回答)



臨床検査に関して行ったことのあるものを聞いたところ、最も回答が多いのは「臨床検査に関して行ったものはない」62.6%で、6割以上は臨床検査に関して自らアクションを起こしたことはないという結果になりました。行ったことのあるものとして最も回答が多いのは「検査結果について医師などに質問した」23.0%となりました。

Q12. あなたが、臨床検査に関して期待するサービスをお答えください。(n=1,000、複数回答)



臨床検査に期待するサービスは1位「検査結果をデータでもらえる」55.5%となりました。検査データの提供を希望する方が多いようです。自宅でデータ管理することで、経年変化や経過を観察したいニーズがあるのではないのでしょうか。2位は「検査結果の見方を教えてくれる」47.3%、3位は「検査結果に応じた生活改善メニューを提案してくれる」30.8%となり、受診者が検査結果を活用できるような事後サポートに期待が寄せられる結果となりました。4位は「病院が変わっても再度検査の必要がないこと」30.7%となりました。

本リリースに関するお問い合わせ先
 一般社団法人 日本臨床検査薬協会
 TEL : 03-5809-1123 FAX : 03-5820-6120 担当: 小室 (おむろ)
 URL: <http://www.jacr.or.jp>

いこと」30.7%となり、病院が変わった際に再度検査をする負担の軽減が期待されています。5位「同年代の平均と比較して健康度を示してくれる」29.9%は全年代でほぼ同じ割合であり、どの年代の方も、他の人と比べて自身の健康度がどれほどかを気にかけられていると考えられます。数値による判定とは別に、同年代平均との比較を通知することで、受診者の健康意識がより高まったり、臨床検査に対する満足度が上がったりする可能性があります。

本リリースに関するお問い合わせ先
一般社団法人 日本臨床検査薬協会

TEL : 03-5809-1123 FAX : 03-5820-6120 担当 : 小室 (おむろ)

URL : <http://www.jacr.or.jp>